

基本戦略に基づく主要施策、取り組み（案）

基本戦略に基づく主要施策、取り組み（案）

将来像 1 自立型経済の構築を支える物流・産業拠点

| 基本戦略 | 主要施策（案） | 取り組み（案） |
|---|---|---|
| ① 東海岸地域の生産拠点の形成、生産性向上に寄与する産業支援港湾としての機能拡充・強化 | A 効率的で生産性の高い物流ターミナルの整備、運営 | 1 航路の新設・拡充 2 船舶・貨物・荷役特性を踏まえた機能的な物流ターミナルの整備 3 官民が連携した効率的なサプライチェーンの形成支援 |
| | B 既存施設の再編・強化 | 4 在来貨物ふ頭の再編・強化 5 周辺道路の渋滞対策 |
| | C 新たな産業空間の確保 | 6 産業用地の確保・立地促進 |
| ② 那覇港との連携・役割分担を図りつつ、流通拠点としての安定的・効率的な物流環境の創造 | D 那覇港と中城湾港の機能分担・有機的連携の推進、両港の連携を強化する陸上・海上ネットワークの形成 | 7 那覇港と中城湾港の機能分担・有機的連携の推進 8 両港の連携を強化する陸上・海上輸送ネットワークの形成 |

将来像 2 地域資源を活かしたアジアの誇れる国際交流拠点

| 基本戦略 | 主要施策（案） | 取り組み（案） |
|-------------------------------|--|---|
| ③ 多彩で高付加価値の国際観光・交流拠点の形成 | E アフターコロナを見据えたクルーズ船寄港地の形成 | 9 県内全域の需要推計、県内各港湾の機能分担・連携、地域経済効果の最大化の検討 10 クルーズターミナルの整備 11 短期的なクルーズ客の利便性、安全性の確保 |
| | F 観光の高付加価値化に資するスーパーヨットの受入環境整備 | 12 スーパーヨットの受入環境の整備 |
| | G 大型MICE施設及び関連施設と調和したマリーナ整備、イベント開催による利用者拡大 | 13 大型MICE施設周辺整備の推進 |
| ④ 観光・交流拠点の形成とブランド価値を生む親水空間の提供 | H 観光・交流拠点の形成 | 14 東部海浜開発事業の推進・供用 |
| | I 海洋性レクリエーション需要への対応と水際空間の有効利用 | 15 海洋性レクリエーション需要への対応と水際空間の有効利用 |

基本戦略に基づく主要施策、取り組み（案）

将来像3 暮らし・仕事・観光の安全・安心を支える中城湾

| 基本戦略 | 主要施策（案） | 取り組み（案） |
|------------------------------|-------------------------|---|
| ⑤ 平時から様々な用途で安心して利用できる港湾環境の整備 | J 安全・安心を支える環境整備 | 16 海岸保全施設の整備（高潮対策） 17 港湾施設等の戦略的な維持管理の推進 18 港湾の水際対策（SOLAS、CIQ、ヒアリ） |
| | K 離島航路の安定運航の維持 | 19 船だまり機能の充実 |
| | L 領海保全の支援 | 20 領土・領海警備体制強化への支援 |
| ⑥ 災害に強い海上輸送ネットワーク機能の強化、確保 | M 防災・減災対策の推進 | 21 ハザードマップの整備・更新、避難施設の指定、避難訓練の実施（市町村） 22 関係企業等と連携した港湾BCPIに基づく継続的な訓練の実施・見直し |
| | N 防災拠点の整備・本島のリダンダンシーの確保 | 23 災害時の緊急物資等の搬送機能を確保する臨海部防災拠点の整備 |

将来像4 経済・社会・環境が統合的に向上した持続可能な中城湾

| 基本戦略 | 主要施策（案） | 取り組み（案） |
|---------------------------------|--------------|---|
| ⑦ 良好な港湾環境の維持、生物多様性の保全等による環境との共生 | O 環境との共生 | 24 海浜・野鳥園の整備、環境学習の実施 25 環境に配慮した港湾施設整備 26 多様な生物等の保全 |
| ⑧ 低炭素社会・循環型社会に貢献する港湾活動の推進 | P 低炭素社会の構築支援 | 27 持続可能な社会の構築に向けた新エネルギーの活用 28 那覇港との機能分担・連携による貨物流動の分散、移動距離の削減 |
| | Q 循環型社会の構築支援 | 29 循環型社会の構築支援 |

主要施策A 効率的で生産性の高い物流ターミナルの整備、運営

- 沖縄本島や背後圏企業等の生産活動の効率化・活性化を支援するため、海上輸送網の充実化に向けて、引き続き、新港地区における航路の新設・拡充に取り組む必要がある。
- 新港地区内や背後圏に自動車関連産業の立地が進展している特性を踏まえ、那覇港への横持ちコストの軽減や国内外向けのストック拠点として、自動車貨物に対応する港湾施設を整備する必要がある。
- 令和3年7月末に本格稼働が予定されているバイオマス発電所の燃料については、港内の横持ちコストの軽減や本土向け燃料のストック拠点としての利用を考慮し、発電所隣接箇所に大型バルク船にも対応可能な港湾施設を整備する必要がある。
- 効率的で生産性の高い物流ターミナルを形成するためには、船舶・貨物・荷役特性等を踏まえつつ、労働環境向上にも貢献する機能的な物流断面の確保を図る必要がある。また、企業等の生産活動の活性化・効率化の基礎となる航路安定化と集貨促進は両輪で取り組む必要があることから、海上物流に関わる官民が連携し、ハード、ソフトの両面から、効率的なサプライチェーンの形成を支援する取り組みを推進する。

【航路の新設・拡充の必要性】



【自動車関連産業の立地状況（中城湾港新港地区及び背後圏等）】

- ・中古自動車販売店は中部圏域に多い。
- ・軽自動車の2大メーカーの納車整備所は、中城湾港新港地区周辺に立地。
- ・中古車オークション会場（荒井商事(株)サテライト会場、J U沖縄）も中部に立地。

<中古自動車販売店の立地状況>



<県内の中古車販売店(R2年12月時点)>

| | |
|-------------|---------------------|
| 沖縄全体 | 330店舗 (100%) |
| 北部圏域 | 20店舗 (6%) |
| 中部圏域 | 217店舗 (66%) |
| 南部圏域 | 81店舗 (25%) |
| 離島 | 11店舗 (3%) |
| その他 | 1店舗 (0%) |

中部圏域に
6割以上が立地

【出典：（一社）日本中古自動車販売協会連合会ホームページ】

<新港地区周辺の納車整備センター>



軽自動車メーカー納整所（特区内_R2.6完成）



軽自動車メーカー納整所（うるま市勝連南風原）

対応方針：新港地区東ふ頭へRORO船、PCC船に対応するターミナルを計画する

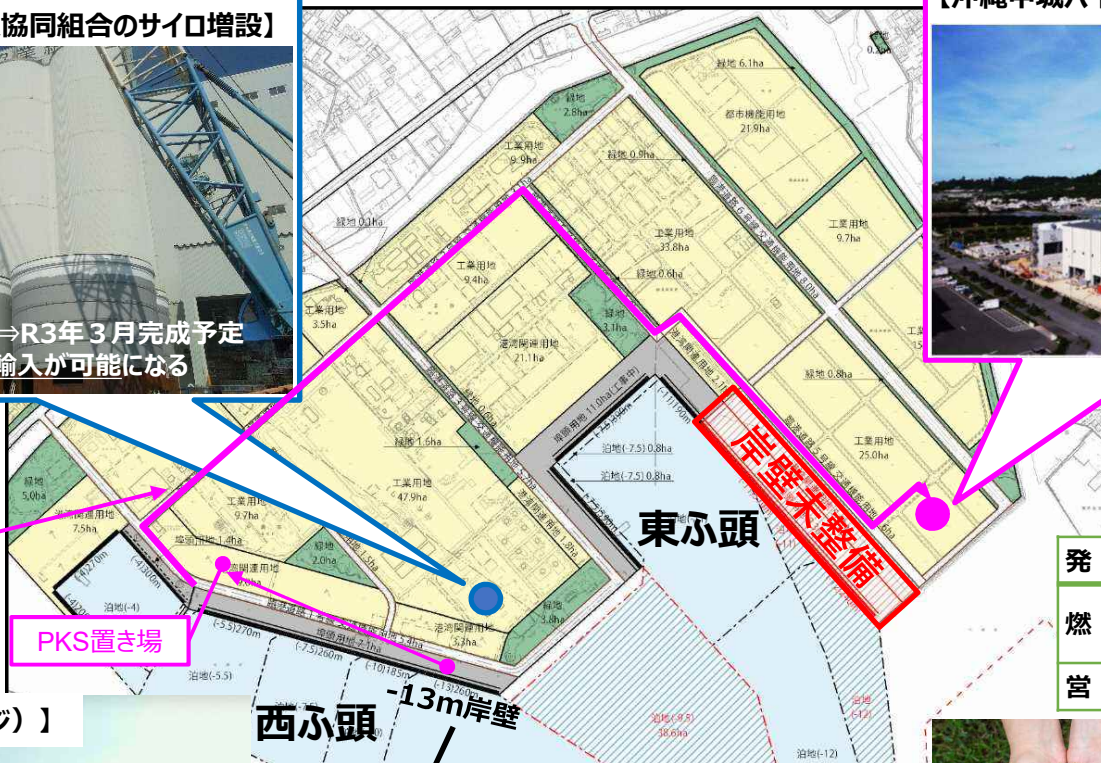
【バルク貨物の状況】

- ・現在、家畜用飼料サイロの増設工事やバイオマス発電所の整備が進んでおり、今後、飼料やバルク貨物の輸入増が見込まれている。
- ・大型バルク船が係留できる岸壁は西ふ頭に整備されているが、発電所までの燃料の横持ち距離が長くその改善を図る必要がある。

【沖縄県飼料施設利用事業協同組合のサイロ増設】



【沖縄中城バイオマス発電所】



＜課題＞
西ふ頭の岸壁を利用した場合、輸送距離が長く、余計な横持ちコストが発生。

PKS置き場

| | |
|------|-----------------------|
| 発電出力 | 49MW |
| 燃料 | パームヤシ殻(PKS) 木質ペレット |
| 営業運開 | 2021年7月 |

【荷役作業の様子(イメージ)】



現在、4万ト級(DWT)の大型バルク船が係留できる-13m岸壁は西ふ頭の1バースだけ



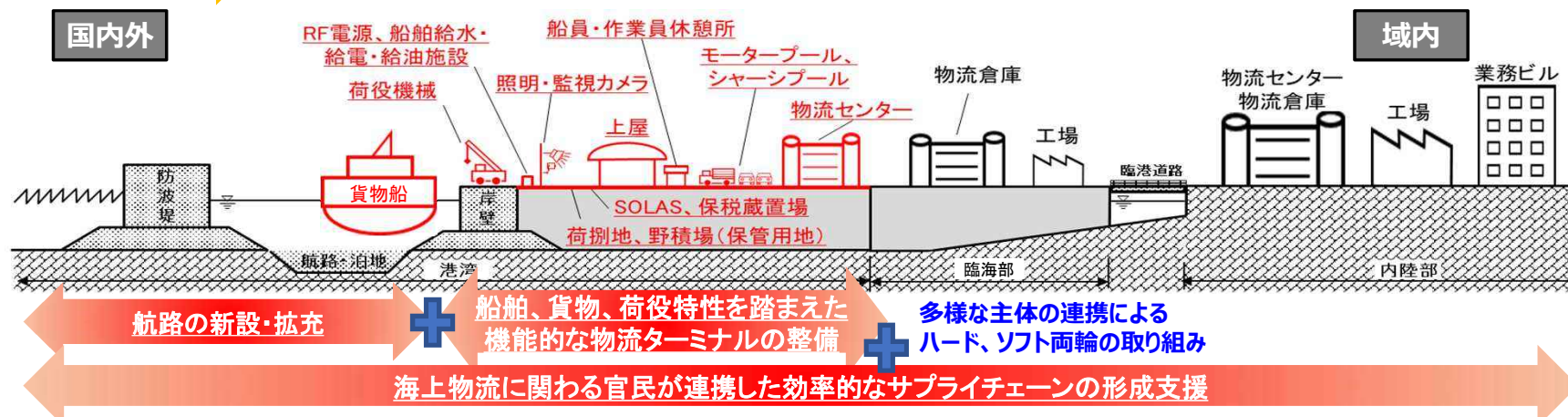
出典:イーレックス(株)のHP及び「決算補足説明資料(2021年3月期上期)」

対応方針：新港地区東ふ頭へバルク船に対応するターミナルを計画する

将来像1：自立型経済の構築を支える物流・産業拠点

基本戦略①-主要施策A

【施策イメージ】▶ 航路安定化、集貨促進とともに、労働環境向上にも貢献する効率的で生産性の高い海上物流の実現へ



| 対象 | 取り組み | 短期(5年以内) | 中期(15年以内) | 長期(30年以内) |
|------|---------------------------------|---|--|-----------|
| 新港地区 | 1 航路の新設・拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ● 既存定期航路の継続・拡充の取組（集貨促進、商流形成等） ● 新規定期航路開設に向けた実証実験の取組、定期化の実現 ● 国内外航路の拡充の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ● 定期航路の継続・拡充の取組（集貨促進、商流形成等） ● 国内外航路の拡充の取組 | — |
| | 2 船舶・貨物・荷役特性を踏まえた機能的な物流ターミナルの整備 | <p><RORO船、PCC船></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 港湾施設の整備（泊地、岸壁、ふ頭用地、港湾関連用地） ● 利用特性を踏まえた物流機能の確保（上屋、リーファー電源、シャーシプール、モータープール等） | <p><RORO船、PCC船></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 同左 <p><バルク船></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 港湾施設の整備（航路・泊地、岸壁、ふ頭用地、港湾関連用地） ● 利用特性を踏まえた物流機能の確保（野積場（保管用地）等） | — |
| | 3 官民が連携した効率的なサプライチェーンの形成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 港湾物流関係者の誘致・連携による一貫型の港湾物流・商流ネットワークの構築 ● 社会実験、実証事業・支援事業の実施 ● AI・IoTの活用推進 ● ターミナル運営等に係るPPP/PFIの導入検討 ● 自動車貨物移出入・輸出環境の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ● ターミナル運営等に係るPPP/PFIの導入 ● その他同左 | — |



MEMO

主要施策B 既存施設の再編・強化

- 近年の船舶大型化に伴い、1寄港あたりの取扱貨物量は増加傾向の一方で、現計画に基づき整備されたふ頭用地では、効率的な荷さばきに課題。
- 立地企業の増加に伴う雇用者数の増加等により、新港地区周辺道路の交通渋滞が顕在化。
- 新港地区の物流作業の効率化及び交通渋滞の解消を図るためには、既存施設の再編・強化が必要。

【ふ頭内の荷役作業のイメージ】



【新港地区周辺道路の渋滞状況】



| 対象 | 取り組み | 短期(5年以内) | 中期(15年以内) | 長期(30年以内) |
|------|----------------|--|-----------|-----------|
| 新港地区 | 4 在来貨物ふ頭の再編・強化 | <ul style="list-style-type: none"> ●ふ頭用地と保管用地の一体的利用を図る整備 ●ふ頭内道路、荷さばき地、緑地等の効率的配置 ●利用特性を踏まえた上屋・物流施設等の確保 | ●同左 | — |
| | 5 周辺道路の渋滞対策 | <ul style="list-style-type: none"> ●交通渋滞対策の実施 ●(上記対策効果を踏まえて必要に応じ)抜本的な交通渋滞対策の検討 | — | — |

主要施策C 新たな産業空間の確保

- 県内外企業の旺盛な立地ニーズへの対応に加え、効率的なサプライチェーンの形成を支援する観点から、物流倉庫等の物流関連企業用地を含む、新たな産業用地の確保に向けた検討が必要。

【沖縄県内における産業用地の課題】

- 一定の広さを有する公共用地が少ない
- 私有地の場合、まとまった土地が少ないこと、あったとしても地権者が多い
- 市街化調整区域や農業振興地区等の指定により、民間企業単独では、産業用地開発が簡単に進まない

出典：沖縄総合事務局経済産業部「令和元年度地域経済産業活性化対策調査（沖縄県内における産業用地の状況調査）」

【国際物流拠点産業集積地域うるま・沖縄地区の利用状況等】

- 利用率：86.4% (166.5ha/192.6ha)
- 立地企業数：254社
- 雇用状況：6,282人 (R2.3月末時点)

【新港地区立地希望企業の問合せ状況等】

- 直近の問い合わせ状況等は以下のとおり。
- 平成29年度：問合せ136件、立地件数10件
(うち分譲実績5社96,928㎡)
- 平成30年度：問合せ164件、立地件数8件
(うち分譲実績7社42,433㎡)
- 令和元年度：問合せ118件、立地件数5社
(うち分譲実績2社29,025㎡)

- 新港地区の未分譲用地は、残りわずか
- 陸域も含め産業用地候補地の検討が必要



【うるま市の産業基盤整備にかかる取組】

うるま市は、令和2年3月に「うるま市産業基盤整備計画基本計画」を策定し、仲嶺地区において『うるま市の次世代のものづくり・新たな高付加価値産業の創出・交流拠点』を整備コンセプトとして、「製造業・物流業等」をメインターゲットとした産業誘致を検討している。



新港地区内の分譲地 (令和2年3月現在)

出典：「2019-2020沖縄県企業立地ガイド(県企業立地推進課)」

出典：「うるま市産業基盤整備計画基本計画(令和2年3月)」

| 対象 | 取り組み | 短期(5年以内) | 中期(15年以内) | 長期(30年以内) |
|------|----------------|---|---|--|
| 新港地区 | 6 産業用地の確保・立地促進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 産業用地候補地の検討 ● 産業用地確保の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ● 産業用地確保の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ● 同左 |

